

フォーティーズ便り

発行:横濱フォーティーズ野球倶楽部
報道部
編集

プレーオ 10月23日(晴れ) 厚木信連グランド

延長10回・2時間32分 史上最長の死闘
高須賀ヤッター! ラッキー! 一塁後方へポトリ
港南 サヨナラ勝ちで二連覇達成
土門 初めてのマウンドで終回3者をピシヤリ

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計
浜翔	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3
港南	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	X	4



港南・植木監督、2年連続の胸上げです

	(0)	(4)	(0)	(0)	(3)	(0)	(2)	(0)	(0)	(0)	計	安打
浜翔	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	3	(9)
港南	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	X	4
	(3)	(1)	(1)	(1)	(1)	(0)	(0)	(1)	(1)	(2)		

勝 土門

敗 秋山

MVP: 高須賀 敢闘賞: 鈴木兼

V打点: 高須賀

二塁打: 吉田信 苗代(港南)

港南					浜翔								
守	氏名	打数	安打	打点	盗塁	守	氏名	打数	安打	打点	盗塁		
5	吉田信	3	2	0	1	0	6	鈴木兼	3	1	0	1	
7	村瀬	2	1	0	1	2	D	時長	3	1	0	1	
6	土門	2	0	1	0	0	5	雨宮	3	0	0	1	
3	安藤	3	3	0	1	1	7	伊藤慎	2	1	1	0	
2	植木	3	0	1	0	0	2	丸山	2	2	1	1	
1	塚田	4	0	0	1	0	D	菅	3	1	0	0	
8	山田	3	1	0	0	0	3	福島	3	1	1	0	
D	富岡	4	0	0	0	0	D	中島	3	0	0	0	
4	高須賀	4	2	1	0	0	8	小松	3	0	0	0	
9	小島	3	1	0	0	0	D	秋山	3	1	0	0	
D	萬木	3	0	0	0	0	D	白戸	2	1	0	0	
D	苗代	2	1	0	0	0	9	谷口	1	0	0	0	
D	木原	2	0	0	0	0	1	有馬	2	0	0	0	
								4	茜屋	1	0	0	0
								D	中筋	1	0	0	0
チーム計		38	11	3	4	3	チーム計	35	9	3	3	4	

守備位置はスタート時

投手	回	安打	三振	四球	失点	投手	回	安打	三振	四球	失点
塚田	3	4	2	0	1	有馬	3	5	2	0	3
木原	3	3	2	3	2	白戸	3	2	1	4	0
安藤	3	2	0	1	0	時長	3	2	2	4	0
土門	1	0	0	0	0	秋山	0 1/3	2	0	0	1
チーム計	10	9	4	4	3	チーム計	9 1/3	11	5	8	4



この日の主審は及川さんお願いしました



浜翔有馬選手に準優勝盾を贈呈。名勝負に感謝



MVP: 高須賀、敢闘賞: 鈴木 両選手にピノ賞が土屋ママから贈呈



病気療養中の 港南:宮本 秀一選手からのご挨拶

本日ここに、2006年度の総会を無事に迎えられ開催された事、心よりお慶び申し上げます。例年ならば私も出席していましたが、今回皆様の前に元気な姿をお見せ出来ず非常に残念でなりません。この度、大勢の方々より多大なる激励のお言葉を賜り、胸が熱くなる思いでございます。通常なら私自身が臨席し皆様方に御礼・ご挨拶をお伝えしなければならぬ所、このような結果に至り大変申し訳ございませんが、何卒皆様方のご理解の程宜しくお願い申し上げます。
又、本日より既に本年度の各チームの戦いは始まっていると思いますが、今年は何よりも港南チームの夢の三連覇に向け、大きな期待が高まっていると思います。
更には他チームの皆様もご健闘並びにご活躍されることを祈りつつ、今後の横濱フォーティーズ野球倶楽部のご発展をお祈りし、簡単ではございますが御礼方々ご挨拶の言葉とさせていただきます。

港南・浜翔 19勝6敗 勝点38 勝率.760 同勝点・同勝率 2チームの順位は「プレーオフ」の結果による

優勝 港南チーム Vメンバー喜びのコメント



昨年も皆の頑張りで優勝出来た。シーズンに入ってプレッシャーを感じ動きに固さがあつたが、新加入の吉田君の元気の良い積極的プレーに引っ張られ、なんと上位をキープした。夏にチームのムードメーカーである張り切りボーイの宮本君の病氣入院(休部)のアクシデントが有り、戦力の低下が心配された。だが、来年も宮本君と長野遠征に行こうとチーム全員がまとまって後半戦を闘い「優勝」を勝ち取った。本当にチームの皆ありがとう。

監督 【植木 忠夫】



厚木信連グランド - 平成17年10月23日 - 史上初のプレイオフ、死闘を制した誇らしい面々が輝いていた。2年連続で植木監督が宙に舞う。寒い季節に始まり新緑があり、今年も暑かった夏を乗り越え、今日の佳き日を迎える事が出来ました。始まりはみんなの合言葉「連続優勝」。試合を重ねることにその重みを体で感じた人、あるいは心地よい緊張感と充実感で満たしていった人、思いはそれぞれだったのではないのでしょうか。そして、あんなに活躍した「宮ちゃん」のカムバックをチーム全員で待っています。宮ちゃん、見てください。チームは前人未到の三連覇に向け既に始動を開始しました。

マネージャー 【渡利 亘蔵】

港南チームもお陰様で二連覇を達成することができました。これもひとえにチーム全員の力で勝ち取ったものだと思っています！ 宮本さんが病気のため途中でリタイアとなりましたが、宮本さんのためにも優勝する事ができて本当に良かったし、ホッとしています！ 今年は三連覇が掛かり、他のチームのマークもきつくなりますが、尚一層チームワークを結集して優勝目指してチーム全員で頑張りましょう！！

【山田 伸久】

昨年3月の開幕を迎え、自分自身優勝等を夢にも思わないで25試合で全身全霊をその試合に没頭した。チーム内にも色々な出来事があったし、不安の影が付きまわっていた。でも今は浜翔との死闘の末勝ち取った優勝は誇らしく思う。宮ちゃん、約束果たしたぞ！！

【塚田 忍治郎】

フォーティーズ初の二連覇を達成した港南チームの1員であることを、私は誇りに思います。一昨年、昨年と私自身は怪我に泣かされて、チームの足を引っ張る事が多かったので、心苦しい限りです。今年は切磋琢磨の上、三連覇に貢献したいと思っております。

【小島 忠雄】



『自分は基本的にラッキーである』の思いが、確信となったシーズンでした。負けが込んだ時でも、プレーオフのしごき合いでも、勝利を信じて楽しんでおりました。個人目標も達成出来て、超ハッピーなシーズンでした。

運営委員 【高須賀 隆】

全員野球でチームワークの勝利。緊張感のある試合が多く楽しい1年でした。V3目指し今年も頑張ります。宜しくお願いします。

【土門 純】

二連覇をかけての宿敵浜翔とのプレーオフ延長戦を制しての優勝は昨年とは一味違った感慨がありました。“基本に忠実に、”を合言葉に戦った全員野球の勝利だと思います。2006年は三連覇を目指して頑張りたいと思います。

【富岡 政行】

入部1年目で優勝できて非常に嬉しいです。前年に居なかったのに昨年の5月には長野へ連れて行って頂き、これで2年連続で長野に行けます。今年も優勝できるように頑張ります。

【吉田 信晴】

港南チームでまさかの連覇！ 今年はず暦の記念すべき年だったのに、大した働きも出来ず申し訳ない気持ちです。こうなれば三連覇を目指してオフに体力作りに励みます！？ 今年もよろしくお願いします。

【木原 芳嗣】

1回目は北村氏へ、2回目は宮本氏へ、3回目は自分のために優勝目指して頑張ります！！

【村瀬 洋一】

プレーオフでの優勝。この喜びは感慨ひとしおです。スポーツで口の中がカラカラに渴くという初めての体験をしました。それだけ浜翔チームとの合戦は凄絶だったのでしょうか。特に延長戦に入ったの攻防が激しく、何回も我がチームの勝利を確信しました。そして同じ数だけ我がチームの負けを覚悟した次第です。相手チームの捕手の丸山さんや左翼手の伊藤さんのミラクル(スーパーでなく)プレーを見せ付けられ、草野球(失礼!!)もまんざら捨てたものではないぞ、との異様な興奮を味わいました。自画自賛ではなく、この死闘は誰にでも誇れるものだと思います。

一方わが身を振り返ると、昨年も一昨年同様優勝に全く貢献していないとの悔悟の念があります。神輿に乗りもしないし、担ぎもしなかったという無念さがあります。仕事と野球の両立はそれなりに大変ですが、今年も末席を汚しながらチームのお荷物としてガンバロウと考えています。 BLESS OUR YOKOHAMA FORTIES FOREVER!!

【苗代 政治】



いえ~い！乾杯！

このジャケットがMVPの賞品

港南での2回目の優勝ですが、大した活躍をしていないので申し訳なく考えております。今年も宜しく。

【萬木 紀一郎】

二連覇大変嬉しいです。今年三連覇めざして頑張ります。

主将 【安藤・修一】

